

平成20年(第25回)
田中野田「夏まつり」開催のご案内
 実行委員長 須澤 良則

今年で25回目になります恒例の田中野田「夏まつり」が8月2日(土)に開催されることが決まり、町内会・子ども会・育成会・体協の代表の方々と、長年ご協力いただいている町内有志の皆様とともに、今年も「夏まつり」の準備に取りかかることとなります。

私は、昨年初めて「夏まつり」に参加させていただきましたが、沢山の方々が田中野田「夏まつり」を愛され、準備から後片付けまでしっかりと運営されていることに感銘を受けました。運営されている方々が自主的に楽しみながら参加されていることが大変貴重だと思います。



昨年、新しい試みで「鮎のつかみ取り」が行われ、子供さんたちが一生懸命鮎を追いかけ、取った鮎を塩焼きにして美味しく食べていた光景が思い出されます。今年も実行委員会メンバーの皆さんと企画を練って、楽しい「夏まつり」ができれば幸いです。

今年も皆様よろしくお願ひ申し上げます。



田中野田ソフトボール・ポートボール
 子ども会育成会会長 中尾 謙二

子ども会活動重点目標として、スポーツへ積極参加させ、子どもの心と身体を育むというのがあり、女の子はポートボール、男の子(女の子も可)はソフトボールを行っています。毎週土・日曜日の午前中が練習です。ポートボールは、祝日をお休みしますが、ソフトボールは平日も時々自主練習をしています。

ソフトボールの試合は、シーズン中、毎月フレンドベースボールと言うのがあります。他に、西綾御吉杯、ポート・ソフト同時開催の山陽新聞社旗大会と、最大の目標としている、市子連中央大会があります。ポートボールはこの大会で昨年2位になり、山陽新聞にカラー写真と名前が載りました。そのお祝いで、監督・コーチ・OB・親子みんなでホテルのバイキングに行きました。



のように流れ落ちるチョコレートに子どもたちは大喜びでした。この大会が終わると、ソフトボールの6年生は、学区対抗選抜6年生大会(オールスター)に向かって、各町内のチームが御南小で一つになり、優勝を目指し本格的な練習が始まります。そして、チームを解散するとき監督と選手は、タオルを絞るほど涙を流して別れを惜しみます。

球技を通して、みんなで勝つ喜び、負けた悔しさ、練習後のアイスやジュースの美味しさなど、いろいろな感動を体験したことは一生の思い出になることでしょう。

子どもたちのために球技OBの方には、本当にお世話になっており、ありがとうございます。町内の皆様には、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。